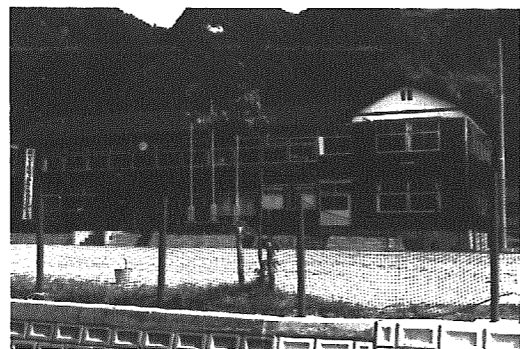


これが今日の収穫＝キスが5～6匹にイカが数はいでした。



地引き網＝子供たちは朝4時半には起床。5時から約1時間の奮戦が続く、でも子供たち以上に準備のPTA役員は大忙し。



栢窪小学校＝明治22年4月創立。昭和57年7月から間瀬小学校と夏・冬の交歓会を実施。現在、1年生5人、2年生4人、3年生3人、4年生4人、5年生1人、6年生4人の計21人が在籍。南魚沼郡塩沢町大字栢窪409番地。



間瀬小学校＝明治6年9月創立。ふるさと交流学習事業として栢窪小学校と交歓会をしています。現在、1年生12人、2年生14人、3年生5人、4年生12人、5年生8人、6年生10人の計61人が在籍。



なんといっても子供たちの最大の楽しみは、この海水浴交流

重なる厚い友情 海の子 山の子

今年もまた山の子供たちが海の子供たちの元に元気にやってきました。間瀬小学校(北嶋威佐夫校長・児童二十一)と南魚沼郡塩沢町の栢窪小学校(中野徹也校長・児童二十一)が、昭和五十八年に姉妹校の縁結びをして以来続いている両校の夏の交歓会が先月十九日から二十一日までの三日間、栢窪小学校の四年生以上の子供たち九人(男子五人、女子四人)を迎えてはじまりました。三日間の交歓会のメニューは、一日めから分刻みで組まれ、ちよつと自由な時間？が少ない気もしましたが、当の子供たちにとっては、やることすること何かも実に楽しそう。今年初めて間瀬を訪れた栢窪小の四年生は慣れないせいか、ちよつと緊張していたようですが、そこは純粋な子供たち、すぐに打ち解け元氣いっぱい。そこで今号では夏休みということもあり(子供たちにとっては……ですが)毎年楽しく、そして貴重な交流を続けている間瀬小学校と栢窪小学校の子供たちの交歓の模様をスケッチしてみました。



「ことしもよろしくね」と栢窪小の児童を出迎え

交歓会ひとこと感想

来年もみんなと来たいな

みんなで楽しめました。夜なんか、友だちのことやいろんな話をしました。それに地引き網をしたんですが魚が少なかったの、もっといっぱいといれたらいいなあと思いました。また来年もみんなといっしょに間瀬に来たいです。



山村由佳さん
栢窪小学校
(4年生・10歳)

朝はねむくて、ねむくて…

夜、みんなで笑い話やいびきのまねなんかしておもしろかったです。でもあんまり遅くまで起きていたので、朝はねむくてねむくて……。昨年も楽しかったけど、ことしもそれ以上に楽しく、たくさん思い出ができました。



阿部美那子さん
栢窪小学校
(5年生・10歳)

今度はぜひ海釣りに挑戦

昨年も来ました、ぜんぜん変わっていませんね。宿ではみんな遅くまでワイワイ騒ぎました。一番楽しかったのは、海水浴で波遊びができたことです。それと釣りなんかでもできたらなあと思えました。思い出がたくさんできました。



菅本健雄くん
栢窪小学校
(6年生・11歳)

友情深まる交歓会

目の前に広がる日本の潮風を受けて元氣いっばいに育つ間瀬の子供たち。一方、塩沢町の中心部から六キロも山間部に入り、冬場は四隣近くの雪にも耐える根気強い栢窪の子供たち。

海と山という生活環境は違っても、同じ小規模校同士の子供たちが未知の世界を体験すると同時に、社交性や温かい人間関係を身につけて、将来も地域の連帯意識を持ちつづける子供たちに成長してほしい――の願いから、この交歓会が始まりました。

夏は栢窪の子供たちが間瀬を訪れ海水浴や地引き網、キャンプファイヤーなどで海ならではの体験を。逆に冬は間瀬小学校の子供たちが栢窪を訪れ、スキーやかまくら、賽の神行事など山として雪の体験を通して、それぞれの生活を理解する交流が続いています。相互の交流は四年生から六年生の子供たちがそれぞれの地区を訪問し、交流しあっているのですが、いまでは子供たちにとどまらず、父兄間の交流(家族で栢窪へスキーに行ったり、逆に夏は海水浴に誘ったりの親せき付き合いに似た交流)にまで発展し、地域ぐるみの付き合いも盛んです。それでは、

一日めの交流の模様から順を追ってご紹介しましょう。

■一日めの交歓(7月19日)

半年ぶりの再会に喜びがこぼれ

ことし二月の栢窪交流(間瀬小学校の四年生と六年生が栢窪を訪問)から約半年。スキーや賽の神行事で交流した懐かしい栢窪の子供たちが間瀬小学校にやって来たのは先月十九日のお昼すぎ。校門前では六十一人の全校児童が迎え、屋内体育館でさっそく歓迎会。栢窪小学校の五、六年生は昨年も間瀬を訪れている経験があるうえ、この二月には間瀬小学校の四、六年生も栢窪を訪れているためか、半年ぶりの再会に「久しぶりだね」「またよろしくね」と気軽にあいさつを交わしています。その後、子供たちは学校前の海に出て、待望!?の海水浴を楽しみました。この日は、三〇度を超す真夏日で海水浴には絶好の日。泳いだり、砂遊びに興じたり両校の子供たちは、すぐに仲良くなって歓声を上げていました。夜は学校前の砂浜でキャンプファイヤーや夏の風物詩――花火を思いっきり楽しみ、その後、宿泊先へ(六年生の家庭に分宿)。これが子供たちにとっては、なんとも楽しいことなのですね。なぜですって?それは、栢窪の子供たちはもちろんですが、間瀬小学校の四、六年生も友達の家でみんなと一緒に泊まれるからです。遊びに行っても泊まるなんてことはそう機会はありませんからね。それがこの交歓会では堂々と泊れるのですから、子供たちにとっては交流はもちろんですが、ちよつと夏の冒険的体験ができるのも楽しみの中のひとつのようです。

■二日めの交歓(7月20日)

地引き網に歓声。でも収穫は…

きょうの朝は早いんです。朝四時には起き出し、